

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	6 地域の魅力の内外への発信			事業・枝事業番号	6-1
事業名	観光情報の発信			担当課	観光課
				経営計画	継続
目 的	来街者の増加と地域振興のため、新宿の魅力の発信をする。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	34,960	16,661	18,299	部	経常増減の部
補助事業収益	2,100	1,880	220	大	事業費
区補助金	17,626	12,052	5,574	中	6号事業費
区補助金(人件費)	15,234	2,729	12,505	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 「五地区別観光マップ(4言語)」を全面改訂する。
- (2) ガイドブック平成24年度版(「五感で楽しむ 新宿観光マップ」を改訂したもの)を配布する。
- (3) ガイドブック平成25年度版を120,000部制作する。
- (4) 3言語(英・中・韓)併記のガイドブックを配布する。
- (5) 上記(1)及び(2)のホームページ掲載用データを年次更新する。
- (6) ホームページの充実と、効果的なウェブ戦略を取り入れることによるページビュー数のアップを図る。
- (7) イベント情報を提供するチラシを制作し配布する。
- (8) 区内で行われたロケ撮影情報の収集と発信及び今後のロケ撮影受入可能施設の情報を収集する。

2 成果指標

マップ等配布部数 300,000部 (平成22年度実績:163,070部)。

3 実施上の課題

- (1) マップ等の体系や位置付けを整理し、効果的な品揃え、周知及び配布方法を検討する。
- (2) ロケ地に関する情報発信のための制度を創る。
- (3) 他自治体等と提携し、新宿の魅力を伝え情報発信の担い手としての裾野を広げる。

4 実 績

- (1) 平成22年度
 - ① 「五地区別観光マップ」を163,070部配布。
 - ② 各地域に取材を行い、「五感で楽しむ 新宿観光マップ」を120,000部制作。
 - ③ 「五感で楽しむ 新宿観光マップ」の広告掲載に、地元企業17社が協賛。
 - ④ 観光関係ホームページのページビュー数50,829件。
- (2) 平成23年度(23年9月現在)
 - ① マップ等の配布部数138,850部。
 - ② 観光関係ホームページのページビュー数31,610件。

5 対前年度予算増減説明

人件費配分算定増による増。

根拠法令・規程	観光立国推進基本法	事業開始	平成22年度
---------	-----------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	6 地域の魅力の内外への発信			事業・枝事業番号	6-2
事業名	他自治体等との観光交流			担当課	観光課
				経営計画	新規
目 的	互いの地域振興のため、友好都市及び新宿区にゆかりや交流のある自治体等を中心に、それぞれの地域の魅力の発信機会を増やす。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	812	0	812	部	経常増減の部
自主事業収益	0	0	0	大	事業費
自主財源	35	0	35	中	6号事業費
区補助金(人件費)	777	0	777	種別	自主事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 友好都市である長野県伊那市との観光交流を実施する。
 - ① マップ等の相互配布、及びホームページのリンクを行う。
 - ② 相互にバスツアー等の観光交流を行う準備作業を開始する。
 - ③ 「新宿シティハーフマラソン 明治公園イベント」へ出展依頼する。
- (2) 歴史博物館での展示等で交流が深まっている福井県小浜市との観光交流を実施する。
 - ① マップ等の相互配布、及びホームページのリンクを行う。
 - ② 小浜市で実施している現地型体験ツアーの出張体験講座を開催する。
 - ③ 「新宿シティハーフマラソン 明治公園イベント」へ出展依頼する。
- (3) 近隣区との観光交流を実施する。
 - ① マップ等を相互に配布する。
 - ② 文京区と連携し、相互に募集するまち歩きツアーを実施する。

2 成果指標

- ※今年度達成指標
 関係自治体等との観光情報発信に関する相互協力や、観光プログラムの相互提供を行う。

3 実施上の課題

- (1) 関係自治体等の方針や予算等に、柔軟に対応できる事業内容を検討する。
- (2) 「新宿まち歩きガイド」制度や、レガスガイドボランティアの活動等と組み合わせながら実施する。

4 実 績

平成24年度開始事業のため実績なし。

5 対前年度予算増減説明

平成24年度開始事業のため前年度予算なし。

根拠法令・規程	観光立国推進基本法	事業開始	平成24年度
---------	-----------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	6 地域の魅力の内外への発信			事業・枝事業番号	6-3
事業名	観光案内機能の充実			担当課	観光課
				経営計画	継続
目 的	来街者の増加と地域振興のため、新宿の魅力の発信をする。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	4,230	5,080	△ 850	部	経常増減の部
補助事業収益	0	0	0	大	事業費
区補助金	716	792	△ 76	中	6号事業費
区補助金(人件費)	3,514	4,288	△ 774	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 新宿の観光に関する主な情報発信媒体であるマップ類を設置・配布している「新宿観光情報発信協力拠点」を定期的に訪問し、情報交換を通じて利用者や各拠点の動向・ニーズを迅速に把握し、適切なマップ等の設置を行い配布数の増加につなげる。
- (2) 「新宿観光情報発信協力拠点」を新規に増やす。
- (3) 「新宿観光情報発信協力拠点」に対し、マップ等のほか観光課主催事業の広報媒体(チラシなど)の配布を依頼する。

2 成果指標

「新宿観光情報発信協力拠点」の新規追加 10か所 (平成22年度実績:15か所)。

3 実施上の課題

- (1) 「新宿観光情報発信協力拠点」との継続的なコミュニケーションの維持、及び各拠点の実情や特性に応じて支援する。
- (2) 新たな「新宿観光情報発信協力拠点」の増加を図り、マップ等利用者の利便性を高める。

4 実 績

- (1) 平成22年度
 - ① 平成22年度末拠点数:51か所(平成21年度末から新規追加15か所)。
- (2) 平成23年度(23年9月現在)
 - ① 9月末拠点数:94か所(平成22年度末から新規追加43か所)。
 - ② 「観光案内拠点(歩きたくなるまち新宿観光案内所)」は、その実情、特性や機能等に鑑み、名称を「新宿観光情報発信協力拠点」に改める。

5 対前年度予算増減説明

人件費配分算定減による減。

根拠法令・規程	観光立国推進基本法	事業開始	平成22年度
---------	-----------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	6 地域の魅力の内外への発信			事業・枝事業番号	6-4
事業名	新宿シティプロモーション推進協議会 の運営			担当課	観光課
				経営計画	継続
目 的	協議会の事務局として、協議会の目的である「ひと、まち、文化の交流が創るふれあいのあ るまちを実現すること」を達成するため、支援を行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	3,828	8,550	△ 4,722	部	経常増減の部
補助事業収益	0	0	0	大	事業費
区補助金	1,095	1,924	△ 829	中	6号事業費
区補助金(人件費)	2,733	6,626	△ 3,893	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 定例会を開催する。
- (2) 協議会を必要の応じ開催する。
- (3) 活動実績報告書を年度末に作成する。
- (4) 協議会設置期間(平成25年3月末まで)の評価と、設置期間後の体制を検討する。

2 成果指標

※今年度達成指標
協議会の事務局として、11項目の協議会所掌事項について協議会設置期間(平成25年3月末まで)内に、計画的に活動できるよう支援する。

3 実施上の課題

- (1) 協議会構成団体の役割分担による、事業運営体制を目指す。
- (2) 協議会設置期間(平成25年3月末まで)の評価と、設置期間後の体制を検討する。

4 実 績

- (1) 平成22年度
 - ① 9月9日に協議会を設立、同月に新宿のまちの総合案内サイト「しんじゅくナビ」を開設。
 - ② 推進協議会設立PR企画「新宿名店・マラソン応援団」を実施。
 - ③ 「新宿名店・マラソン応援団マップ」を区内企業の広告協賛により作成。
 - ④ 「第9回新宿シティハーフマラソン 明治公園イベント」及び「東京マラソンEXPO2011」へブース出展。
- (2) 平成23年度(23年9月現在)
 - ① 定例会を5回開催。
 - ② 情報発信作業部会を2回開催。
 - ③ 協議会PR企画作業部会を1回開催。
 - ④ 平成22年度『金賞』新宿区商店会連合会推奨表彰店の取材記事を、「しんじゅくナビ」へ掲載開始。

5 対前年度予算増減説明

人件費配分算定減による減。

根拠法令・規程	観光立国推進基本法	事業開始	平成23年度
---------	-----------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	6 地域の魅力の内外への発信			事業・枝事業番号	6-5-(1)
事業名	新宿ぶらり探訪 (1)歴史文化探訪			担当課	学芸課
				経営計画	継続
目 的	1.新宿の持つ歴史や文化財に加えて、自然や地勢、地域の特性など有形、無形の地域の文化・観光資源を再発見し、新たな新宿の魅力を区民らに知ってもらおうとともに、区内外へ向けて積極的に情報発信していく。 2.新宿の魅力やまちへの愛着を深め、観光課と連携を図りながら外来者や外国人に向けても積極的に情報発信する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	362	361	1	部	経常増減の部
自主事業収益	180	192	△ 12	大	事業費
自主財源	△ 15	△ 27	12	中	6号事業費
区補助金(人件費)	197	196	1	種別	自主事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)新宿区外 2回
- (2)新宿区内(新宿区と隣接、関連する地区)4回
- (3)史跡ボランティアによる企画、運営を推進する。

2 成果指標

参加者:360人(前年度実績:722人)

3 実施上の課題

- (1)平日の実施、テーマ性を持たせた企画等を新たに展開していく。
- (2)所蔵資料展、企画展等に合わせた史跡めぐりや、新宿区外の関連史跡めぐりを実施する。
- (3)観光事業との整合性をとり、相互に特徴をもった事業を展開する。
- (4)新たなコース選定をする。

4 実 績

平成23年度 6回実施予定(2回 延べ73人 平均36.5人)
 平成22年度 11回 延べ722人 1回平均65.6人
 平成21年度 4回 延べ287人 1回平均71.8人

5 対前年度予算増減説明

実績による実施回数減に係る収入減(11回→6回)

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成22年度
---------	--------------------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	6 地域の魅力の内外への発信			事業・枝事業番号	6-5-(2)
事業名	新宿ぶらり探訪 (2)新宿ぶらり散歩塾			担当課	観光課
				経営計画	継続
目 的	新宿全域の回遊性向上と地域振興のため、有形・無形の観光資源を積極的に掘り起こし、新宿の多様な魅力を内外の幅広い層に発信する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	2,140	4,590	△ 2,450	部	経常増減の部
自主事業収益	1,358	96	1,262	大	事業費
自主財源	0	206	△ 206	中	6号事業費
区補助金(人件費)	782	4,288	△ 3,506	種別	自主事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 観光課企画プログラムを6回実施する。
- (2) レガスガイドボランティア企画プログラムを3回実施する。

2 成果指標

参加者数210人(平成22年度実績:112人)。

3 実施上の課題

- (1) 参加者だけでなく、訪問先にもメリットを提供できる企画を目指す。
- (2) 地域人材・企業との協働を積極的に推進し、観光事業の担い手の裾野を広げる。
- (3) 区外からの参加者を増やすため、新たな広報手段を検討する。

4 実 績

- (1) 平成22年度
4回実施: 6月13日(日)、10月1日(金)、2月26日(土)、3月25日(土)。
(計:定員120人、申込者数152人、参加者数112人)
- (2) 平成23年度(23年9月現在)。
2回実施: 7月1日(金)、9月4日(日)
(計:定員80人、申込者数79人、参加者数63人)

5 対前年度予算増減説明

人件費配分算定減による減。

根拠法令・規程	観光立国推進基本法	事業開始	平成20年度
---------	-----------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	6 地域の魅力の内外への発信			事業・枝事業番号	6-6
事業名	新宿ファッションフィールド			担当課	文化交流課
				経営計画	名称の変更
目 的	新宿の魅力を内外に発信するため、区内及び近隣の各種学校の協力を得て、商店街組合、観光協会、企業を取入れた地域ネットワークを創出する。ファッションを通じて区民が楽しみながら参加できる機会をつくり、地域の活性化に寄与するシステムを確立する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	5,426	5,042	384	部	経常増減の部
補助事業収益	100	100	0	大	事業費
区補助金	3,763	3,382	381	中	6号事業費
区補助金(人件費)	1,563	1,560	3	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1)デザインの募集

対象:新宿区内及び近隣在住者・在勤者・在学者から一般公募する。

①ファッション部門

1次審査:デザイン画による審査

2次審査:実制作品によるファッションショー形式での審査

②一般部門

デザイン画のみ、もしくはコーディネートに特化した洋服の制作をしない部門

(2)学校との連携

服飾系学校に、企画・技術面審査会コーディネートおよび参加者募集に協力を依頼する。

(3)共催・協賛・協力

新宿区に共催を依頼する。

一般企業との協賛・協力による物品提供・周知を行う。

(4)開催時期・会場

11月～12月頃、新宿文化センター小ホールにて開催予定

※旧新宿モードファッションを一部の学校名と重ならないようにするため事業名を変更する。

2 成果指標

来場者数:200人(平成22年度実績:1,000人)

3 実施上の課題

(1)魅力あるファッションショーとするため、企画力や演出力を高める。

(2)応募者数を増やし、作品の向上を図る。

(3)ファッションショーのレベルを高めるため、スポンサーや協力企業を確保する。

(4)一般来場者数を増やすため、広告宣伝活動を強化する。

4 実 績

(平成22年度)

応募者数:136人 応募点数:261点 来場者数:延べ1,000人 2次審査会場:新宿駅西口広場

(平成23年度)

応募者数:127人 応募点数:218点 来場者数:延べ150人 2次審査会場:新宿文化センター小ホール

5 対前年度予算増減説明

レンタル品目追加による使用料及び賃借料の増

根拠法令・規程	新宿区文化芸術振興基本条例	事業開始	平成21年度
---------	---------------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	6 地域の魅力の内外への発信			事業・枝事業番号	6-7-(1)
事業名	友好都市等との交流事業 (1)人的交流事業			担当課	文化交流課
				経営計画	継続
目 的	友好都市提携を行った国内外都市等との市民間交流を通して、諸都市への理解を深めるとともに、市民相互の友好交流を促進する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	9,372	10,446	△ 1,074	部	経常増減の部
自主事業収益	555	3,555	△ 3,000	大	事業費
区補助金	7,647	5,722	1,925	中	6号事業費
区補助金(人件費)	1,170	1,169	1	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1)ミッテ区との青少年交流事業(受入)

対象:ミッテ区在住の青少年12人

期間:春休み期間中の約2週間

内容:ホームステイ、派遣者OBとの交流、区内大学生等との交流、区施設見学、区民向け講座の実施

(2)伊那市との交流事業

対象:区民及び区内在勤者40人、新宿区民踊連盟会員及び区内民踊愛好家40人

期間:体験交流2泊3日、民踊交流1泊2日

内容:体験交流/自然体験、伝統芸能体験、伊那まつり参加 民踊交流/伊那まつり参加

(3)友好都市等との交流

新宿区友好都市を含む海外からの派遣団が来区した際の受け入れ(適宜)

(4)ユースプラスフェスタへ伊那市青少年を招待

新宿文化センターで実施する演奏会に伊那市のブラスバンド部を招待

2 成果指標

参加者数92人(ミッテ区青少年交流12人、伊那市体験交流40人、伊那市民踊交流40人)

(平成22年度実績:62人)

3 実施上の課題

(1)派遣参加者の協力を得て、友好都市の存在とその魅力、および交流の成果を広くアピールする。

(2)広く区民が参加できるスポーツや文化活動といった新たなテーマでの交流の可能性を検討する。

(3)新宿区に伊那市民を招いての交流や、伊那市でのホームステイといった、より密接な市民交流の仕組みを検討する。

4 実 績

平成22年度

(1)ミッテ区との青少年交流事業(受入)

ミッテ区諸事情により中止

(2)伊那市との交流事業

①伊那市体験交流

日程:8月6日(金)～8月8日(日) 参加者:23人

②民踊交流

日程:8月7日(土)～8月8日(日) 参加者:39人

(3)友好都市等との交流

東城区訪問団(高級顧問ほか6人)受入、2010年北京王府井国際ブランド祭へ財団職員1人を派遣

(4)ユースプラスフェスタへ伊那市青少年を招待

ユースプラスフェスタに伊那市立春富中学校吹奏楽部を招待

5 対前年度予算増減説明

ミッテ区青少年受入のため、新宿区青少年の派遣費の減

根拠法令・規程	友好都市提携調印	事業開始	平成5年度
---------	----------	------	-------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	6 地域の魅力の内外への発信			事業・枝事業番号	6-7-(2)
事業名	友好都市等との交流事業 (2)作品交流事業			担当課	文化交流課
				経営計画	継続
目 的	新宿区の友好都市との作品交流を通して、市民レベルでの相互交流を促進するとともに、友好都市の存在とその魅力を広く区民にアピールする。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	2,862	2,859	3	部	経常増減の部
自主事業収益	0	0	0	大	事業費
区補助金	1,299	1,299	0	中	6号事業費
区補助金(人件費)	1,563	1,560	3	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)新宿区友好都市作品交流展
新宿区及び新宿区友好都市、ギリシャ・レフカダ町、中国北京市東城区、伊那市の児童生徒の絵画・書道作品を集め、新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、新宿区友好都市展示会を実施する。
- (2)新宿区内での巡回展示
新宿区友好都市作品交流展に出展された作品を、区内の幼稚園、保育園、子ども園、小中学校の希望校や財団施設(新宿文化センター、コズミックススポーツセンター、歴史博物館、みるっく)や新宿区役所 1階で巡回展示を行う。
- (3)感謝状および新宿区作品の送付
出展者全員に感謝状を送付する。併せて新宿区の作品を海外の友好都市に送付し、現地での展示を依頼する。

2 成果指標

来場者数5,000人(平成22年度実績:5,000人)

3 実施上の課題

- (1)より効果的な実施方法(実施回数・実施会場)を検討する。
- (2)友好都市のPRのため、「国際都市新宿・踊りの祭典」を始めとする多文化共生イベント会場でパネル展示・写真展示を行う。
- (3)作品交流展に参加していないドイツ・ベルリン市ミッテ区に参加を打診する。

4 実 績

平成22年度

- (1)新宿区友好都市展示会の実施
期間:平成22年10月22日(金)～10月25日(月)
会場:新宿駅西口広場イベントコーナー
来場者:約5,000人
作品点数:東城区81点、レフカダ町50点、伊那市50点、新宿区115点
- (2)巡回展示の実施
新宿区役所、東京都健康プラザハイジア、保育園3ヵ所、小学校1ヵ所、新宿文化センター 全7ヵ所
- (3)作品の送付
レフカダ町へ82点の作品を送付
東城区へ83点の作品を送付

5 対前年度予算増減説明

人件費単価増による増

根拠法令・規程	友好都市提携調印	事業開始	平成5年度
---------	----------	------	-------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	6 地域の魅力の内外への発信			事業・枝事業番号	6-9
事業名	新宿まち歩きガイド運営協議会の運営			担当課	観光課
				経営計画	継続
目 的	協議会の事務局として、協議会の目的である「区民及び来街者の関心を高め、おもてなしの心で新宿のまちを案内すること」を達成するため、支援を行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	3,730	7,510	△ 3,780	部	経常増減の部
補助事業収益	0	0	0	大	事業費
区補助金	604	1,274	△ 670	中	6号事業費
区補助金(人件費)	3,126	6,236	△ 3,110	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 受注型ツアーを20回程度見込む。
- (2) 募集型ツアーを10回程度開催する。
- (3) 協議会を定期的に開催する。
- (4) 「新宿まち歩きガイドパンフレット」を増刷する。

2 成果指標

※今年度達成指標

協議会の事務局として、構成団体との調整を図りながら「新宿まち歩きガイド」制度を充実させる。

3 実施上の課題

- (1) 多様なニーズに対応するため、新たな構成団体の参加を促し運営体制を充実させる。
- (2) 区外からの参加者を増やすため、「新宿まち歩きガイド」制度の新たな広報手段を検討する。
- (3) 募集型ツアーの効果的な運営体制の検討と開催の支援をする。
- (4) 各構成団体の運営方法を尊重しつつ、協議会として統一した施策の実施を実現する。

4 実 績

- (1) 平成22年度
 - ① 受注型ツアー:16回実施(計:参加者数263人)、中止1回。
 - ② 募集型ツアー:10回実施(計:申込者数1,139人、参加者数556人)、中止1回。
- (2) 平成23年度(23年9月現在)
 - ① 受注型ツアー:12回実施(計:参加者数112人)。
 - ② 募集型ツアー:4回実施(計:申込者数259人、参加者数231人)、中止1回。
 - ③ 「新宿まち歩きガイドパンフレット」の新版を制作。

5 対前年度予算増減説明

人件費配分算定減による減。

根拠法令・規程	観光立国推進基本法	事業開始	平成22年度
---------	-----------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	6 地域の魅力の内外への発信			事業・枝事業番号	6-10
事業名	レガスガイドボランティアの活動支援			担当課	観光課
				経営計画	継続
目 的	地域の魅力を伝えていく担い手の活動支援をするため、「新宿の魅力の発信」という切り口で地域人材の活躍の機会を積極的に提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	4,107	4,503	△ 396	部	経常増減の部
補助事業収益	48	282	△ 234	大	事業費
区補助金	933	1,102	△ 169	中	6号事業費
区補助金(人件費)	3,126	3,119	7	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 「新宿まち歩きガイド運営協議会」を介したガイド依頼へ対応する。
- (2) 「新宿ぶらり散歩塾」の企画及びガイドを9回実施する。
- (3) ガイドスキル向上のための研修会を5回開催する。
- (4) 新宿の観光プログラムを開発する。

2 成果指標

延べ活動者数120人(平成22年度実績:100人)。

3 実施上の課題

- (1) 「新宿の魅力の発信」という切り口で、幅広い分野の知識を持つ人材を継続的に確保する。
- (2) 登録者自身の創意を活かした、観光プログラムの企画や実現ができる環境を提供する。

4 実 績

- (1) 平成22年度
 - ① 平成22年度「新宿ぶらり散歩塾」への従事(4回、延べ活動者数26人)。
 - ② 「新宿まち歩きガイド運営協議会」を介したガイド依頼への対応(5件、延べ活動者数8人)。
 - ③ 「レガスガイドボランティア」研修会を実施(3回、延べ活動者数40人)。
 - ④ 「レガスガイドボランティア」全体会を実施(2回、延べ活動者数20人)。
 - ⑤ その他(延べ活動者数6人)。
- (2) 平成23年度(23年9月現在)
 - ① 平成22年度「新宿ぶらり散歩塾」への従事(11回、延べ活動者数42人)。
 - ② 「新宿まち歩きガイド運営協議会」を介したガイド依頼への対応(7回、延べ活動者数9人)。
 - ③ 「レガスガイドボランティア」企画ツアーへの従事(1回、延べ活動者数1人)。
 - ④ 「レガスガイドボランティア」研修会を実施(2回、延べ活動者数14人)。
 - ⑤ 「レガスガイドボランティア」全体会を実施(3回、延べ活動者数29人)。

4 対前年度予算増減説明

研修会実施内容の見直しによる減。

根拠法令・規程	観光立国推進基本法	事業開始	平成22年度
---------	-----------	------	--------